

徒然なる1ページ#2014

～俳句へのいざない～

俳句 春の季語 下巻

FACEBOOK 投稿分

公益財団法人大谷教育文化振興財団

徒然なる1ページ制作チーム

『徒然なる1ページ2014 ～俳句へのいざない～』は2014年（平成26年）FACEBOOKに投稿した日本独自の文化である俳句の季語を季節（春・夏・秋・冬）ごとに、それぞれ3巻（上巻・中巻・下巻）にわけて刊行しております。

四月五日

今日の季語のご紹介は“桜うぐい（さくらうぐい）”です。

全国の河川・池などにいる魚で春の産卵期になると雄の腹に赤い線が現れることよりこの名前がついたそうです。

釣り魚となり美味です。

四月六日

今日の季語のご紹介は“春霖（しゅんりん）”です。

春の長雨の事です。

3月下旬より4月にかけて各地につめたい雨が降り続くことが多いです。

四月七日

今日の季語のご紹介は“野遊（のあそび）”です。

陽春の日差しを浴びながら草を摘んだり蝶【よみ；ちょう】を追ったりして野原で遊ぶ事です。

四月八日

今日の季語のご紹介は“麗か（うららか）”です。

万物が明るく和やかなさま。

四月九日

今日の季語のご紹介は“日永（ひなが）”です。

日の短かった冬より春へと季節が移り昼が永くなる事です。

四月十日

今日の季語のご紹介は“雀隠れ（すずめがくれ）”です。

春も深まりスズメの身を隠すほどに草木の生長した様。



四月十一日

今日の季語のご紹介は“巣立鳥（すだちどり）”です。

雛【よみ；ひな】がかえり独立して巣を飛び立ってゆくまでをこう言います。

孵化【（よみ；ふか）意味；卵よりかえること】後すぐに巣を離れる鳥や巣立後も親に連れられて遊んでいる鳥など期間は様々です。

四月十二日

今日の季語のご紹介は“観潮（かんちょう）”です。

潮の干潮による海水の動きを見ることです。

鳴門海峡の渦潮は通常でも有名ですが4月ごろの大潮には特に壮観です。

四月十三日

今日の季語のご紹介は“春陰（しゅんいん）”です。

春の陰った天気のことです。

類似の季語として“花雲（はなぐもり）”があり、この季語の意味は桜が咲くころの曇り空のことです。

四月十四日

今日の季語のご紹介は“竹の秋（たけのあき）”です。

他の植物と異なり竹の葉は春に黄ばみます。

四月十五日

今日の季語のご紹介は“雀の子（すずめのこ）”です。

家の軒などにスズメが作った巣にはヒナがかえりエサをねだって泣く子スズメの声が聞こえます。

子スズメは巣立ってから、しばらくは親鳥に連れられて庭先の木の枝で遊んでいます。



四月十六日

今日の季語のご紹介は“芹（せり）”です。

田んぼのアゼや湿地などに生える多年草です。

茎にも葉にも独特の香気があり「ひたし」や「あえ」などにします。春の七草のひとつです。

四月十七日

今日の季語のご紹介は“陽炎（かげろう）”です。

うららかな春の日に立ちのぼる水蒸気のため「ちらちら」とゆらめいて見える様。

四月十八日

今日の季語のご紹介は“都踊（みやこおどり）”です。

4月初旬より5月初旬にかけて京都祇園の歌舞伎連場で公演される芸姑さんの踊りの事です。明治5年に始まったそうです。

四月十九日

今日の季語のご紹介は“木流し（きながし）”です。

冬の間伐採して置いた木を春に雪解けや雨で増水した谷川へ落として下流へ流しだす事です。

四月二十日

今日の季語のご紹介は“雲雀（ひばり）”です。

ひっそりと冬を過ごしたヒバリは春になりと力強いさえずりをひびかせ空高く鳴きのぼります。ウグイスと共に春の鳥として親しまれております。

四月二十一日

今日の季語のご紹介は“豆の花（まめのはな）”です。

春に咲く豆類の花【エンドウ、ソラマメ、など】の事です。白や紫の蝶形の花を葉のわきに咲かせます。

四月二十二日

今日の季語のご紹介は“白魚（しらうお）”です。

体長10センチくらいの無色透明の小さな魚で煮ると白くなります。淡白で上品な味で古くから正味されております。

四月二十三日

今日の季語のご紹介は“緑摘む（みどりつむ）”です。

松の新芽を摘むことです。



四月二十四日

今日の季語のご紹介は“菊の苗（きくのなえ）”です。

春に菊の根の親株より出た新芽をわけ移植しますが、その新芽を菊の苗といいます。

四月二十五日

今日の季語のご紹介は“春塵（しゅんじん）”です。

日の光もにごるほどの土埃が春に吹く「からっ風」のため舞い上がる事です。

四月二十六日

今日の季語のご紹介は“落とし角（おとしづの）”です。

毎年この時期になるとオスの鹿の角は自然に落ちて新しい角がのびはじめます。

四月二十七日

今日の季語のご紹介は“赤潮（あかしお）”です。

春の海には藻や微生物などが群生して海水を赤褐色に濁らすことが多いです。これを赤潮といい魚・貝・海藻類を全滅させたりします。

四月二十八日

今日の季語のご紹介は“山吹（やまぶき）”です。

山野に自生するバラ科の落葉低木で枝先に山吹色の五弁花が咲きます。

四月二十九日

今日の季語のご紹介は“菜の花（なのはな）”です。

日本の春田を黄色に彩る花です。

千葉県の子郷の花でもあります。



四月三十日

今日の季語のご紹介は“春眠（しゅんみん）”です。

昼夜を問わず、とにかく「うとうと」と心地よい眠りに落ち込む季節の事です。

五月一日

今日の季語のご紹介は“メーデー（めーでー）”です。

世界各国で行われる労働者の祭典の事です。

五月二日

今日の季語のご紹介は“桜貝（さくらがい）”です。

浅い海の砂地にすみ小さな二枚貝の事です。

長さ2センチくらいで薄い殻は桜の花びらのように美しいです。

五月三日

今日の季語のご紹介は“憲法記念日（けんぽうきねんび）”です。戦後、新憲法が実施された日で国民の祝日となっております。

五月四日

今日の季語のご紹介は“どんたく（どんたく）”です。

5月3日、4日と行われる九州博多の行事です。

古くは1月15日に行われており【松囃子（よみ；まつばやし）】といわれた祭礼だったそうですが今日では【港祭】と合併して仮装した市民が踊る賑やかな行事となったそうです。さて明日より季節は夏へとうつっていきます。

